

ニュースレター

「SDGs・ESDをひろげるための“ちば”拠点づくり」

<特集号>

2023年のユースボランティア受け入れ団体から送っていただいた報告です。

No.1 NPO 法人 亀成川を愛する会 ①

プログラム名：亀成川とその流域の生物多様性を守る活動 外来種駆除（NPO法人亀成川を愛する会）

日時：7月29日 場所：別所谷津公園の池参加者：ユース10名

体験内容：①アメリカザリガニのもんどりをひきあげて、ザリガニ駆除
②講師から釣り方の指導を受ける。
③釣場所で、講師から指導を受けながら餌をつけ、釣り竿で、ギル釣り



良かったこと

- ・生物に触れあい環境問題やその深刻さをより実感できた。
- ・考えて行動する事の大切さや後の影響を考えることが重要だと知れた
- ・釣りの楽しさを再確認し友人ともその時間を共有できた
- ・釣り竿や魚捕り網かごを使った魚捕獲の経験ができた。ボランティアの経験ができた。印西牧の原に来れた。楽しかった。
- ・ボランティアの皆様と協力してくださった方と協力して取り組めたこと

受け入れ団体感想

- ・暑い中、当初予定から変更がいくつかあったのにもかかわらず、会のお願いをきちんと守り、熱心に取り組みました。
- ・親切丁寧な指導のおかげで、釣りが初めてという小中高生も大人も短い時間でも釣果がありました。
- ・楽しかったという感想がうれしかった。

No.2 NPO 法人亀成川を愛する会 ②

プログラム名：亀成川とその流域の生物多様性を守る活動 ⑧ 田んぼの草刈り（NPO 法人亀成川を愛する会）

日時：8月20日（日）9:30～12:00 場所：古新田川最上流部のホテル田んぼとカエル田んぼ

参加者：ユースボランティア：2名

体験内容：生きものの田んぼに生えた草を除去する。（農薬や除草剤を使っていないので、雑草はたくさん生えてきます） スイカ割（お楽しみ）

①感想

- ・ボランティアに参加したのは初めてだったので、自分にできるかわからなかったが、微力だが役に立てたようで良かった。・暑くて長時間の活動が難しかった。
- ・都市部に住んでいるので、身近に自然がありません。体を動かして良かった。

②運営、団体スタッフへ

- ・初めて参加させて頂きましたが、事前にメールを頂いて場所をご丁寧に教えて頂いたり、作業の手順をわかりやすく説明して頂けた。
- ・暑い日の作業だったため、体調に気遣って頂いて、休憩時間にゼリーやおせんべいを頂けた。ありがとうございました。



プログラム名：トンボ観察会（NPO 法人亀成川を愛する会） 日時：8月26日 午前9時20分～12時

場所：別所谷津公園の水辺参加者：ユースボランティア：1名

体験内容：湿地と緑地に生息しているトンボ観察会の実施にあたり、スタッフとして受付観察の補助を担う

- ・参加者である家族の人数とお名前の確認、トンボ観察会の参加費用の回収を行う。
- ・参加者家族の方々の誘導を行う。・参加者家族を後ろで見守りながらトンボを探しを行う。
- ・その他の活動として、熱中症対策のための荷物を運ぶ。網やバケツなどを運ぶ。

団体の感想

- ・まじめに取り組んでもらえた。
- ・自然の素晴らしい場所が近くにあるので、ストレス解消や健康増進をしながら、役に立つことができるボランティア活動にぜひ参加してもらいたい。

No.3 シェア里山「ヤマナハウス」

プログラム名：南房総の里山で古民家の改修や畑づくり、裏山を開拓しよう！

日時：8月26日（土）10時半～16時

場所：南房総三芳のシェア里山『ヤマナハウス』

参加者：ユースボランティア：2名（親子）の予定で
連絡が取れていたが、体調不良で欠席となった。



体験内容：ヤマナハウスは「シェア里山」をテーマに、
20年近く人が住んでいなかったお化け屋敷状態の古民家を
大掃除して、DIY、裏山の整備、休耕地の活用を通して、
少しずつ手入れをしている“未完成”の里山です。
都市部の人々にとっては気軽にリピートできる環境です。

里山だけでなく、地元南房総の人々が集まる場でもあり、いろいろな人とつながることができます。
里山とはただの自然ではなく、人の手が入って里山になっていきます。古き文化に学びながら新しいものも取り入れ、自然と共生した里山の新しい活用方法を愉しみながら提案していきます。

No.4 浦安水辺の会

プログラム名：マハゼのすみか釣り調査@境川（浦安水辺の会）

日時：8月27日（日）8:00～12:00 場所：境川および浦安市郷土博物館

参加者：全体：14名 ユースボランティア：5名、市民活動センター夏休みボランティア：9名 スタッフ：10名

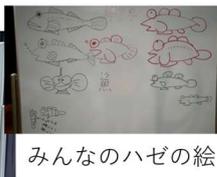
ボランティア内容：マハゼ釣り調査（東京湾の生き物調査）に協力する境川止流部分の調査（ハゼの全長を測定）

体験内容：①8時中央公民館玄関前に集合して、出欠確認とスケジュール説明

②境川親水テラスでハゼの釣り方説明後下流に移動し新中橋下のテラスで1時間ほど釣り94匹の釣果 全長を測る調査を実施

③郷土博物館での館内見学、講師より【ハゼの生態と何故境川の下流から上流まで調査するのかの説明を聞く】

④ふりかえり【活動報告を記入後、ハゼの絵をホワイトボードに描いてもらう】



①環境課題、気づき・浦安の水質の現状を知って自分に何が出来るかを探すきっかけになった。・水質調査のボランティア活動に参加して、環境保護の重要性を改めて実感した。・地域の水源が健康に影響を与える可能性を知り、専門家と協力してデータ収集や分析を行うことは、社会貢献に繋がる素晴らしい経験だった。・釣り自体とても楽しかった。ボランティアに応募して、なににどう貢献出来るのか分からなかったけど、調査を通して理解し、とてもいい経験になった。・つりが初めてだったので楽しかったし、ボランティアとしてマハゼの調査に参加できて良かった。・普段して来なかったことが経験できてとても楽しかった。これからも釣りをしてみたい。マハゼを初めて見たけどとても可愛いなと思った。

②今後について・未来の世代のためにも、このような活動を続けていきたいと思う。・釣りに取り組みたい。

③運営、団体スタッフへ・説明も丁寧で、とても楽しかったです。・本日は、楽しく自分のためになるボランティアに参加させていただきありがとうございました。・マハゼと触れ合えて楽しかったです。良い経験になりました。

No.5 浦安三番瀬を大切に作る会

プログラム名： プラごみ一掃作戦（浦安三番瀬を大切に作る会）浦安市
日時：2023年8月6日 8時30分～12時
場所：三番瀬、浦安日の出護岸、浦安市三番瀬環境観察館
参加者：ユースボランティア：7名 全体：45名（浦安市市民活動センター夏休み
ボランティア中高生：10名 一般参加者：22名 スタッフ：6名）



体験内容：①プラごみ一掃作戦の活動について説明 ②海岸のゴミ拾い ③ゴミの中からプラスチックを分別し
プラごみアートの材料収集 ④水道水でのプラごみ洗浄、マイクロプラスチックを水の中から観察、色別した
プラごみアートの絵の具となったものを写真で報告 ⑤活動報告入力、浦安市夏ボラ活動者と合同で振り返り

ふりかえり：

- ・三番瀬でこの量が抽出できたということは…と考えると人間が自然界に与えている影響の大きさが伺えた。
- ・本当に小さなプラスチックが沢山入っているボウルは、いざ活動を終えた上で見ると、ただ危ない、可哀想というより、また違った申し訳ないという感想が湧くものだった。
- ・プラスチックは温暖化などにも深い関わりがあるため、暑い中ゴミ拾いをする自分たちに周り回って影響していることが体で感じられた。私たちが生み出して、私たちに影響する、本当にその通りだと思った。
- ・SDGsについてとても楽しくまなぶことができその事について考え直すきっかけとなりました。
- ・今回はゴミが少なかったとスタッフの方は言っていたのでびっくりしました。

No.6 プロデザインスタジオ&千葉愛の教会

プログラム名： GOGO ボランティア～ゴミ拾い&プラスチックごみアート創作活動～
日時：2023年8月11日（木）午前9時半～11時
場所：稲毛海浜公園（いなげの浜） 参加者：ユースボランティア：8名（エントリー）

体験内容：①午前9時稲毛記念館前にて受付 ②当日の活動の説明と顔合わせ ③砂浜のゴミ拾い（漂流ごみ・プラゴミ清掃）
④ゴミ拾い終了後集合、活動のふりかえり（写真撮影）⑤ワークショップ「プラごみアート創作活動」
⑥ふりかえりと活動に対するアンケート⑦午前10時半ごろ解散



プログラム名： GOGO ボランティア～ゴミ拾い&プラスチックごみアート創作活動～
日時：2023年8月26日（土）午前10時～12時 場所：北条海岸（館山市）
参加者：ユースボランティア：1名（当日欠席） 全体：20名

体験内容：①午前10時に三軒町無料休憩所付近に集合 ②当日の活動の説明と顔合わせ、③砂浜のゴミ拾い（漂流ごみ・ごみ
清掃・プラゴミ収集）④ゴミ拾い終了後集合、活動のふりかえり（写真撮影）⑤ワークショップ「プラごみアート創
作活動」⑥ふりかえりと活動に対するアンケート ⑦午前12時ごろ解散

団体感想：館山での活動では、総勢20名が集まり、作業をしました。都市部からも多く参加され、地元からは地元高校生、ホテル&リゾート南房総のホテルのスタッフが参加してくださいました。花火大会が行われる前に会場を少しでも綺麗にアートは、花火とイルカをモチーフに制作しました。山形から祖母の家が館山にある子（高校3年生）が、この夏休みに館山に遊びに来ていて地元の房日新聞を見て来てくれました♪楽しんでもらい、山形の海で活動したいと思っていたそうで、いいきっかけになりました。



《参加者募集！》

SDGs 学生フォーラム in ちば

「SDGs でつながる 学生ネットワークを作ろう！！ ～ボランティアを日常に～」

日時：2024年2月18日(日) 9:30~11:30

会場：千葉県教育会館(新館) 401 会議室 オンライン
千葉市中央区中央 4 丁目 13 番 10 号

募集：会場 20人 オンライン：60人

参加費：無料

参加対象：高校生～大学生 ・若者の活動支援をしている方

・ ボランティアを探している方 ・ SDGs に関心のある方

内容 I部 活動紹介

学生団体おりがみ。りこボラ！（環境チーム、子ども・教育チーム、福祉チーム）。
東京湾連絡網。早稲田ロドリゲス。小金高校オーシャンズ。

II部 意見交換会

申し込み：2月15日(木)までにQRコード申し込みフォームからお願いします。



プログラム公開体験会「ESD 地域リーダープログラムを訪ねて」

SDGs・ESD の視点を入れたプログラムを体験しませんか！

日時：2024年2月25日(日) 8:00~16:30

会場：浦安市三番瀬環境観察館・境川

集合・解散：千葉駅NTT 8:00~16:30

参加費：無料

募集人数：20人(成人)

内容：プログラム「浦安三番瀬をもっと知りたい！」「親子初めてハゼ釣り教室」他
エクスカーション：郷土博物館見学

申込：(2/22まで) 名前・所属団体名を e-mail: info@kanpachiba.com へ

主催：NPO 法人環境パートナーシップちば

<https://kanpachiba.com/>

問合せ：「SDGs・ESD をひろげるための“ちば”拠点づくり事業」事務局 090-8116-4633

★以上2つの事業は「独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催」

お問い合わせ：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば <https://kanpachiba.com/>

e-mail: info@kanpachiba.com Tel: 090-8116-4633

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています



・千葉県主催講演会のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

千葉県環境学習等に関する交流・協働の場づくり事業講演会と報告会

日時：2024年2月18日(日) 14:00 ~17:00

会場：千葉県教育会館 604 会議室

定員：会場 50名 オンライン 500名 参加申し込み(2/16まで) 申し込み先着順

TEL 043-223-4144 e-mail: e-haiki@mz.pref.chiba.lg.jp

第1部 14:00~15:20 露木しいな 講演会「Z世代の環境活動家が考える地球の今」

第2部 15:30~17:00 若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト 受賞者活動報告会

主催/問合せ：千葉県環境学習等推進連絡会議(事務局/千葉県環境生活部循環型社会推進課)